

2023年度（令和5年度）事業報告書

2023年（令和5年）4月1日～2024年（令和6年）3月31日

1. 概況

埼玉県知的障害児者生活サポート協会がスタートし18年目となる2023年度は、新型コロナウイルスの様々な規制がようやく緩和される中での事業推進となりました。

その中において、会員拡大活動を目指して、株式会社ジェイアイシーと連携し、特別支援学校での説明会、さらに未加入の施設へDM工作を実施し会員増を図りました。また障害がある方の自立を支援する団体「クッキープロジェクト」に広告協賛団体として応援参加、「埼玉県障害者スポーツ協会」の賛助会員を継続し、「埼玉県知的障害児者生活サポート協会」の団体名を広く知っていただく機会とさせていただきました。2023年度会員数は9,271名となり、前年比101%の会員増となりました。ご尽力いただきました株式会社ジェイアイシー営業ご担当の皆様にご心より感謝申し上げます。

また、助成金交付事業においては、年度初めに助成金事業の案内を開始したところ、上期での申請が7件となり例年になく好調に推移いたしました。下期の申請が伸び悩んだ結果、年度合計10件助成金交付額は900,339円となりました。引き続き助成金交付事業制度を幅広く利用いただけるように案内をいたします。

この一年の試行錯誤を基に、今後とも「互助の精神」を忘れることなく、会員の皆様から信頼いただけるサポート協会となるべく、より一層の努力をしてまいります。

2. 事業

（1）会員拡大に向けた活動

2023年度新規加入者376名、2023年度末会員数9,271名

2023年度 プラン別会員数 ①5,036名 ②3,137名 ③1,098名

（2）支部長会・研修会

日時：2023年12月5日（火）14:00～16:30

場所：さいたま共済会館6階 602会議室 参加者56名

支部長会：会員状況・助成金交付制度・会員範囲拡大について周知・報告

研修会：「生活サポート総合補償制度」保険金請求並びに事務手続きに関して

解説：株式会社ジェイアイシー 本店第二営業部 部長 山口 英倫 様
事務局 土屋

（3）広報に関する活動

会報誌「埼サポ15号」発行 2024年1月1日付け（10,000部）

会員の方が、読みやすく親しみやすい内容となるようにオールカラーにした。

ページ数を8ページとし、会員の方から2023年度に寄せられたアールブリュット展「作品」103点全てを紹介。助成事業報告として、支部が行った「研修会」の記事を掲載。24年度より発達障害児者への会員範囲拡大について掲載した。また、当会ホームページを活用し、補償制度加入案内、助成金交付申請等の告知を実施した。

（4）助成事業

2023年度助成事業は、申請、実施ともに10支部（850,339円）、クッキープロジェクト広告協賛費（50,000円）の合計900,339円となった。助成金交付事業制度の案内を4月以降数度案内したが思うように申請数は伸びなかった。次年度は、助成金交付事業の案内発信の際に具体例を挙げるなどさらなる周知を図る。

	申請団体	実施日	助成金額
①	社会福祉法人清心会	6/24	100,000 円
②	一般社団法人まんまる結び	5/1	33,000 円
③	NPO 法人チャレンジ	6/4、6/7、7/9	99,792 円
④	社会福祉法人ささの会	7/13	100,000 円
⑤	草加光陽育成会	10/10	99,789 円
⑥	社会福祉法人久美愛園	6月～3月、月1開催	69,048 円
⑦	狭山手をつなぐ親の会	11/18	63,710 円
⑧	白岡市手をつなぐ親の会	2/13	85,000 円
⑨	久喜市栗橋手をつなぐ育成会	3/2	100,000 円
⑩	社会福祉法人邑元会しびらき	1月～3月	100,000 円
⑪	クッキープロジェクト	3/15・3/16	50,000 円

① 支部：社会福祉法人清心会

事業名：「社会福祉法人清心会 創立40周年式典・記念フォーラム」

目的： 障害者の地域生活、文化活動を支援し、地域社会の理解・啓蒙を図り、共生社会の実現を目指す。

成果： 800人の来場者があり、障害福祉関係者、本人、一般市民、行政関係者への啓蒙が図られた。

② 支部：一般社団法人まんまる結び

事業名：「障害児者支援員や親のためのコミュニケーションスキルアップ講座」

目的： 支援や親子関係の中で最も重要であるコミュニケーションについて、体感ワークを通して学ぶ機会とする。

成果： 障害者家族・支援職員・支援職を目指す大学生など多様な参加者とコミュニケーションに関して学ぶ機会となった。

③ 支部：NPO 法人チャレンジ

事業名：「行動障害児・者とその家族へのPBS支援」相談会・講習会（応用編）

目的： 前年度に続いて続編開催。英国の先駆的臨床事例を通して、行動障害を理解し、正しい対応をより深く学んでもらう。さらに、実践・悩みの相談、保護者や職業者のメンタルケアなどより適切な支援方法の助言をする。

成果： のべ76名の保護者・職業者が参加し、行動障害への理解を深めた。また、メンタルケアを実施しメール相談など活発な交流がその後も行われた。

④ 支部：社会福祉法人ささの会

事業名：「映画「帆花」上映会」

目的： 医療的ケアのある障害児への理解、地域の支援の向上の為。

成果： 県内外より一般市民、行政関係者など311名が参加。上映、トークイベントを通し、重い障害のある方への支援について考え、それぞれの地域での取り組みに良い影響があったと考える。

⑤ 支部：草加光陽育成会

事業名：講演会 「親のあるあいだ」の準備、障害のある子の「親なきあと」

目的：親が元気なうちに、できることを考える

成果：障害者の親である講演者が同じ目線で講話をしたことから参加者は理解をしやすく、障害のある子の親の不安に寄り添うことができたと考える。

⑥ 支部：社会福祉法人久美愛園

事業名：「みどりくみらい研究所 朝日ゼミ」

目的：地域福祉課題に対し、地域連携を意識した課題解決力を発揮できる人材の育成

成果：地域福祉課題を解決できる次世代のリーダー育成のための基礎的な知識獲得と分野を超えた関係の構築ができた。

⑦ 支部：狭山手をつなぐ親の会

事業名：「きょうだい支援を考える勉強会」

目的：知的障害本人の兄弟の思いを知り、親として何をなすべきかを勉強する。

成果：狭山市障害福祉課の協力を得て開催し、40名を超える参加者があり、参加者アンケート結果も良好であった。

⑧ 支部：白岡市手をつなぐ親の会

事業名：蓮障連・白障連合同「障害福祉の市民公開講座」

目的：障害者の人権が守られ差別のない地域社会を目指し、共生社会について市民とともに理解を深める機会とする。

成果：障害者の家族を含む159名が参加。地域の公共施設、事業所等多数の協力のもとに開催したことで目的は達成されたと考える。

⑨ 支部：久喜市栗橋手をつなぐ育成会

事業名：「カーレットおしゃべりサロン」

目的：多様・多世代でコミュニケーションができるユニバーサルスポーツであるカーレットを体験し、ご本人の余暇活動・交流の場を広げる機会とする。
また、「障害とは？合理的配慮とは？共生社会とは？」というテーマで講演会を開催、ご本人・家族、地域の方々、参加者みんなで意見交換を深めていく。

成果：障害児者とその家族が楽しく体験し、課題について理解を深めたほか、障害のある青年たちの運営への積極的な参加が見られた。

⑩ 支部：社会福祉法人邑元会しびらき

事業名：いちごスイーツ商品開発研修会

目的：就労継続支援B型事業所における、ファームのいちごを使ったいちごスイーツの商品開発を行うことによって、販売促進を目指し、就労している方の工賃アップや、地域の活性化にも貢献する。

成果：スイーツ作成の講師を招き、職員・利用者と共に試作会を繰り返し行い、就労継続支援B型事業所におけるしびらきファームのいちごを使用したパフェやジャムの開発を行った。今後も同事業所における「ひとつながるカフェ」で、開発した商品の製造と販売を行い、就労している方の工賃アップを行うとともに、地域の活性化にも貢献したい。

⑪ クッキープロジェクト広告協賛実施

事業名：クッキーバザール

目的：クッキーバザール広告協賛により広告掲載し、サポート協会の認知拡大。

成果：2日間の開催、総売り上げ135万円。チラシ・ポスターを発行しイベント会場・各支援先で配布。クッキープロジェクトホームページ・サポート協会ホームページでも協賛告知した。継続して支援する。

3. 会議の開催

(1) 定時社員総会

第10回定時社員総会

日時：2023年6月14日（水）10:00～11:30

場所：埼玉会館3階 3B会議室

審議事項： 第1号議案 2022年度事業報告承認の件
第2号議案 2022年度決算報告承認の件
第3号議案 2022年度監査報告承認の件
第4号議案 役員改選（案）について

報告事項： (1) 代表理事、副理事長、理事、監事、顧問の選任報告
(2) 2023年度 事業計画について
(3) 2023年度 収支予算について
(4) その他

(2) 臨時社員総会

第1回臨時社員総会

日時：2024年1月30日（火） 10:30～11:00

場所：埼玉県知的障害児者生活サポート協会 事務局

オンライン開催

審議事項： 第1号議案 定款の一部（目的）変更について
（発達障害児者への会員範囲拡大の為）

(3) 理事会

①第1回理事会

日時：2023年5月24日（水） 10:30～12:00

場所：埼玉県知的障害児者サポート協会事務所

審議事項： 第1号議案 2022年度事業報告について
第2号議案 2022年度収支決算報告について
第3号議案 2022年度決算監査報告について
第4号議案 理事、監事改選に伴う役員の推薦について
その他 報告事項
・「生活サポート総合補償制度」資料説明
・助成金交付事業の内容検討 久美愛園 研修について

②第2回理事会

日時：2024年3月14日 10:00～11:30

場所：埼玉会館6階 6D会議室

審議事項： 第1号議案 2024年度事業計画（案）と予算（案）について
第2号議案 2024年度サポート協会会議日程について
第3号議案 役員賠償責任保険について
第4号議案 就業規則の一部改訂について
その他
・生活サポート総合補償制度 個人賠償責任補償改定案進捗状況説明
・定款（目的）変更登記完了の報告

(4) 臨時理事会

①第1回臨時理事会

日時：2023年6月14日(水) 10:30~10:40

場所：埼玉会館3階 3B会議室

審議事項：第1号議案 代表理事、副理事選任について

②第2回臨時理事会

日時：2023年11月10日(金) 10:00~12:00

場所：埼玉県知的障害児者生活サポート協会事務所

参加者4名のため臨時理事会としては不成立

協議事項：関東甲越ブロック会議でAIG損害保険会社より提案の「生活サポート総合補償制度」個人賠償責任補償改訂案説明・意見交換

③第3回臨時理事会

日時：2024年1月30日(火) 10:00~10:30

場所：埼玉県知的障害児者生活サポート協会事務局

オンライン

審議事項：第1号議案 定款一部(目的)変更について

(5) 監査会

日時：2023年5月10日(水) 10:30~12:00

場所：埼玉県知的障害児者生活サポート協会 事務所

監査実施事項：2022年度事業報告、収支決算報告について

4. 全国知的障害児者生活サポート協会および関東甲越ブロックとの連携

(1) 全国サポート協会主催 アールブリュット展に応募

埼玉県応募数103点(支部100点、個人応募3点)の作品が提供された。全国サポート協会規程では、各サポート協会5作品までの推薦枠であるが、埼玉県への応募作品数は全国でも非常に多いことから、推薦枠を10作品に拡大して推薦した。

推薦作品の一部は、全国サポート協会制作の2024年カレンダーへ掲載された。

埼玉県サポート協会への全応募者に、埼玉県サポート協会より感謝状と粗品を進呈した。

(2) 第17回関東甲越ブロック会議へ参加

主催：全国サポート協会 幹事サポート協会：東京都サポート協会

日時：2023年10月6日(金) 13:30~16:30

場所：日本青年館ホテル

参加者：長岡理事長、事務局 土屋 計2名

参加団体：1都8県サポート協会、全国サポート協会、AIG損害保険株式会社、株式会社ジェイアイシー